

学校訪問シリーズ 29

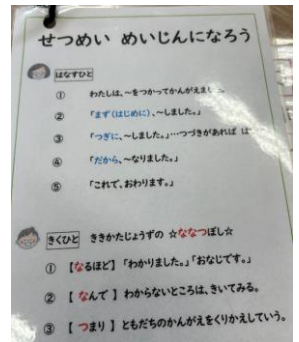
臼杵市立下ノ江小学校から学ぶ

学校の教育目標「ふるさとを愛し、ともに学び合い、高め合う下ノ江っ子の育成 ～愛と笑顔にあふれる下ノ江小学校～」を達成するため、育成を目指す資質・能力を、「相手意識をもって対話するために必要な力」「自らに合った目標を設定し達成に向けて努力する力」と定め、チーム学習、チーム生活を中心に組織的に取り組まれています。

学校経営から学ぶ

本校は、上記の資質・能力を育成するため、算数用語や図など子どもの課題に応じたスキル学習を行ったり、算数の時間は、1時間に1回以上「学び合いタイム」を取り入れ、様々な方法を使って自分の考えを友達にわかりやすく説明させたりしています。このように算数を中心とした一点突破全面展開の取組により、育成を目指す資質・能力の共通理解が図られ、それぞれのチームの目標も達成されつつあります。

今後とも、フットワークの軽い小規模校の強みを活かすために、職員だけでなく、子どもや保護者、地域の方とSWOT分析を行い、熟議を重ねることでより特色のある活動が行われることが期待されます。



授業から学ぶ

参観したどの授業も、子どもどうしの対話をとおして、子ども自身が課題を発見していました。特に6年生は急遽オンラインによる授業でしたが、子ども達は効果的な学び合いを行っていました。日頃からのご指導が見事に発揮できた場面でした。

これからも、子ども達を信じ、任せていくような学級経営と、「まとめ」や「振り返り」、単元計画を意識した授業展開を期待します。



NO.216 2022年10月 臼杵市立下ノ江小学校

伝える道具

タブレットは、自分の考えを伝え、みんなの考えを知る道具。対話は人と人がする。



NO.217 2022年10月 臼杵市立下ノ江小学校

比べる

友達と自分の考えを比べる。同じ所と異なる所が見えてくる。それが、課題になる。



NO.220 2022年10月 臼杵市立下ノ江小学校

課題をつかむ

みんなの考えを聴くことで、今からやるのがみえてくる。だから、やってみたくなる。



NO.219 2022年10月 臼杵市立下ノ江小学校

相手意識

友達に教える時は、相手の思いや考えを引き出しながら、対話をとおして行う。



NO.218 2022年10月 臼杵市立下ノ江小学校

式や図をよむ

友達のノートから、どのような考えをもったのかを考える。だから、説明に参加できる。